



かけこ通信

令和7年度 第3号
令和7年6月17日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校発行(文責:小川)

先輩たちの取組と思いを引き継いで ～1年生地域探究学習のスタート～



4月25日(金)4限の総合的な探究の時間に、2年生から1年生へ「地域探究学習」の引継ぎがありました。

2年生は昨年度1年間かけて、掛合町内5地区に分かれて、毎週の総合的な探究の時間や週末、夏・冬休みに行われた各地区でのイベント等に参加し、地域の方々と直接かわりながら地域が抱える課題等に向き合い、高校生目線で解決策を考えてきました。

昨秋の文化祭ではその取組の中間発表を行い、聴衆からの質問等にも受け答えし、いただいたアドバ

イスをもとにその後も試行錯誤を繰り返しました。1月終わりにはこれまでの取組と成果等の最終報告をし、各地区の担当の方から直接講評をいただきました。報告のなかには、高校生目線の斬新なアイデアや工夫、先輩たちのアイデアをさらにブラッシュアップしたものなど、感心させられる取組が多くありました。

この日はその成果と課題について総括し、1年生へ引き継ぎたいことを伝えました。これを受けて、1年生は今年度の自分たちの探究活動を始めていきます。先輩たちの取組と思いは1年生へと引き継がれることとなります。

5月20日(火)には町内5地区を一日かけて巡るバスツアーへ、さっそく出かけました。



新旧交代！ ～第1回生徒総会～

5月2日(金)6限に、第1回生徒総会を行いました。初めに、昨年度後期の生徒会役員から活動内容の報告と生徒会会計の決算報告が行われました。



その後、4月25日(金)にあった生徒会役員選挙で選出された生徒会長から、今年度前期の役員が紹介され、新体制がスタートしました。今年度前期の生徒会長からは「掛合分校がたくさん笑顔であふれる学校となるよう頑張ります」と力強いあいさつがありました。

また、各委員会の委員長から、図書館の利用やバス通学者のマナー向上に向けた取り組み、感染症対策の徹底など、全校生徒に向けた呼びかけがありました。

今年度も生徒会活動がより活発に行われることを期待します。



雨降って地固まる ～3年生入間花田植え参加～

5月25日(日)に3年生が入間花田植えに参加しました。当日はあいにくの雨となり、残念ながら入間体育館で行われました。入間花田植えは県内外からたくさんの観覧者が訪れる有名な伝統行事です。例年すがすがしい青空の下で開催されてきましたが、今年は初めての屋内開催となったそうです。

感染症のため数年間中止されましたが、令和4年度に復活し、5年度は分校生徒の有志11名が参加しました。昨年度は入間地区から以前の規模で開催したいとの要請を受け、学校をあげて1・3年生全員が参加しました。



参加者全員が体育館に集合して、まず神事が執り行われ、次に「はやしこ行列」が体育館中央で輪になって踊り歩き、伝統衣装を身につけ早乙女（さおとめ）となった女子生徒が体育館の端から端へと田植えを、法被（はっぴ）を着た男子生徒が苗渡しをしました。実際の水田ではなかったため思うようには田植えができませんでしたでしたが、地域の方たちの参加もあり、総勢40名ほどの早乙女さんが一列になって、賑やかに行われました。



2年生は当日八重滝を見学するツアー

へ出かける予定でしたが、雨のためこちらは中止となり、1年生とともに学校で総合的な探究の時間等の授業を行いました。

国際社会や海外への関心をさらに高めて ～3年生と島根大学留学生との地域交流～

6月6日（金）5・6限に雲南市民谷交流センター「夢民谷楽校（ムーミンダニガッコウ）」にて、3年生が島根大学の外国人留学生18名と日本人学生2名との地域交流事業に参加しました。

2005年に雲南市と包括連携協定を締結した島根大学は市との関係強化に努めておられます。今回は『しまねの里山と世界をつなぐ実践活動 2025 in 雲南—中山間地域の「農」を通じた交流と「農」の魅力発見—』事業として、「島根大学の外国人留学生に市の産業等に触れてもらい、更にそこに暮らす人々との交流を通して日本の里山・農業に国際的な関係人口を育てる」ことを目的に、1泊2日のスケジュールで雲南市内を巡られました。



掛合分校には、3年生が昨年度台湾研修旅行を経験したことから声がけしていただきました。外国人留学生との交流により、海外への関心をさらに高めるきっかけ作りとなることも期待されました。

留学生は、中国・韓国・スリランカ・ブラジル・インドネシア・インドネシア・ネパール・タイなどから来日され、年齢や学部、日本語の習熟状況も様々でしたが、生徒たちは身振り手振りを交えながら積極的にコミュニケーションを図ろうとしていました。

参加者たちは初めに、昨年度の営農体験実習でお世話になった宇山営農組合の須山さんから指導していただき、クロモジ茶づくり・ハーブティーづくりを体験しました。

その後、台湾研修で現地の真理大学の学生たちに紹介したスライドを使って、掛合町の魅力や1年時探究学習の取組等を留学生たちに伝えました。

わずか2時間ほどの交流でしたが、生徒たちは往復のバス移動の車中や現地での記念撮影を通して、国際社会や海外への関心をさらに高められたようです。

